

愛媛県松山市：いで湯と城と文学のまち松山の脱炭素シンフォニー

事業計画の特徴

- 温対法に基づく**促進区域として定める市所有の未利用地（空港周辺の騒音地域）**を活用した**オフサイトPPA**によって、文化財保護や景観保護の観点から太陽光パネルの設置が困難な道後温泉本館、道後温泉椿の湯、道後温泉別館飛鳥乃湯泉、松山城、松山城ロープウェイ・リフト、坂の上の雲ミュージアムといった**主要な観光施設である国の重要文化財や特徴的な建造物等へ再エネを供給**する。併せて当該施設を訪れる年間約300万人（令和元年実績）の観光客に**行動変容につながる取組を実施**することで、脱炭素社会の実現に向けた機運醸成を図る。
- 上記オフサイトPPAで得られた実施手法や施工方法などを「**PPAモデル**」としてマニュアル化し、**連携中枢都市圏（伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町）へ情報提供**を行うとともに、5市町が類似事業を立ち上げる際には助言を積極的に行うなど、**域内全体で再エネ導入を進める**。
- 太陽光発電設備（蓄電池セット）導入時や住宅のZEH化に**市費による上乗せ補助**を行うことで市内への再エネ導入等を加速させる。

事業計画の概要（民間）

再エネ：3,000kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 750件 ・ 3,000kW
蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 750件 ・ 5,250kWh
住宅のZEH化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 150件

事業計画の概要（公共）

再エネ：2,095kW

取組	規模
市所有の未利用地（空港周辺の騒音地域）を活用した太陽光発電設備の導入（PPA等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2,095kW
※電力供給先：観光施設（公共施設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 道後温泉本館 ・ 道後温泉椿の湯 ・ 道後温泉別館飛鳥乃湯泉 ・ 松山城 ・ 松山城ロープウェイ・リフト ・ 坂の上の雲ミュージアム 	

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
5,095kW	56,161 t-CO2	16.7億円	7.6億円	令和6年度～令和11年度

取組のイメージ

